

福岡県医発第 701 号 (地)
平成 24 年 6 月 8 日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 松 田 峻一良
(公印省略)

日本医師会が実施する「診療報酬改定についての調査」への協力について (お願い)

2012年度診療報酬改定を検証するために、日本医師会において標記調査を実施することとなり、その協力依頼が別紙のとおりありました。

本調査は、今後の診療報酬改定のための重要な基礎資料とすることを目的として実施されるもので、日本医師会 A1 会員から診療所・病院それぞれ都道府県ごとに 1/20 を無作為抽出した医療機関を対象とし、別添の「調査票」を郵送にてご返送いただくというものです。

そこで、平成 24 年 6 月 7 日開催の第 7 回全理事会で協議の結果、本調査に協力することとなりましたので、対象会員より問い合わせ等ありましたら、是非ご協力いただきますようご高配方よろしくお願い申し上げます。

なお、

- 1) 本調査は、日本医師会より対象医療機関に直接郵送されます。
- 2) 本調査にご協力いただいた個々の医療機関名、個別のデータにつきましては、一切公表されません。

小郡三井医師会より

医療保険担当理事 山下拓郎
会長 蒲池 壽

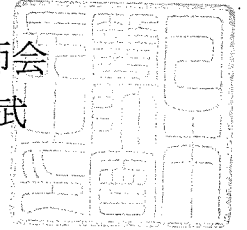
上記調査が届きましたらご協力よろしくお願いいたします。

日医発第203号（保48）

平成 24 年 6 月 4 日

都道府県医師会長 殿

社団法人 日本医師会
会長 横倉 義武



「診療報酬改定についての調査」へのご協力をお願い

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より本会会務運営にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今般、2012年度診療報酬改定を検証するために、本会では標記の「診療報酬改定についての調査」を実施することといたしました。

本調査は、今後の診療報酬改定のための重要な基礎資料とすることを目的に実施させていただくものです。

具体的な調査の方法は、日本医師会A1会員から診療所・病院それぞれ都道府県ごとに1/20を無作為抽出した医療機関を対象とし、別添の「調査票」を郵便にてご返送いただくというものです。

つきましては、貴会におかれましても、本調査の趣旨を十分にご理解いただき、調査対象となった医療機関からご照会がありました場合には、ご協力が得られますようご尽力いただければ幸いです。

なお、本調査にご協力いただきました個々の医療機関名、個別のデータにつきましては、一切公表いたしません。

また、データの取扱いについては万全を期すことを申し添えます。



(添付資料)

調査客体医療機関宛送付資料

1. 「診療所の診療報酬改定についての調査」へのご協力をお願い
2. 「病院の診療報酬改定についての調査」へのご協力をお願い
3. 別紙 日本医師会 2012年度診療報酬改定についての調査
ご記入およびご返送にあたってのお願い
4. 2012年度 診療所の診療報酬改定についての調査
5. 2012年度 病院の診療報酬改定についての調査

2012年6月

各 位

社団法人 日本医師会
会 長 横倉 義武

「診療所の診療報酬改定についての調査」へのご協力をお願い

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、地域医療の確保にご尽力賜り、衷心より御礼申し上げます。

さて、今般、2012年度の診療報酬改定を検証するため、日本医師会では、「診療所の診療報酬改定についての調査」を実施することにいたしました。

調査内容は、時間外対応加算、入院基本料（有床診療所のみ）、一般名処方加算、在宅療養支援診療所などです。

調査客体は、日本医師会A1会員のうち、都道府県ごとに1/20、無作為抽出をしています。

本調査を通じて、次回改定にむけての重点取り組み課題を浮び上がらせることができればと考えております。なにとぞ趣旨をご理解たまわり、お忙しいさなか誠に恐縮ですが、ご協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬 白

2012年6月

各 位

社団法人 日本医師会
会 長 横倉 義武

「病院の診療報酬改定についての調査」へのご協力のお願い

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、地域医療の確保にご尽力賜り、衷心より御礼申し上げます。

さて、今般、2012年度の診療報酬改定を検証するため、日本医師会では、「病院の診療報酬改定についての調査」を実施することにいたしました。

調査内容は、一般病棟入院基本料、回復期リハビリテーション病棟入院料、病院勤務医の負担軽減、データ提出加算、在宅療養支援病院、などです。

調査客体は、日本医師会A1会員のうち、都道府県ごとに1/20、無作為抽出をしております。

本調査を通じて、次回改定にむけての重点取り組み課題を浮び上がらせることができればと考えております。なにとぞ趣旨をご理解たまわり、お忙しいさなか誠に恐縮ですが、ご協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬 白

2012年6月

日本医師会 2012年度診療報酬改定についての調査
ご記入およびご返送にあたってのお願い

1. 調査票のご返送期限

同封の封筒で2012年7月6日（金）までにご返送下さい。

2. 記入上のお願い

- ・黒ボールペン等ではっきりとご記入下さい。
- ・選択肢のある設問については該当する番号に○をお付け頂き、件数等については数値をご記入下さい。

3. 個人情報保護について

お送りいただいた情報は統計的に処理いたします。個々の医療機関名、個別のデータを公表することは一切ございません。また、データの取扱いについては万全を期します。

なお、調査票の記載内容について、担当者から集計上のお問い合わせをさせていただく場合がございますので、ご承知置きください。上記以外にご不明な点がありましたら、下記担当あてにご連絡ください。

お問い合わせ先：

日本医師会 診療報酬改定アンケート調査係

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16

TEL：03-3942-6514（受付時間10：00～17：00）

メールアドレス：kensho12@po.med.or.jp

※土日・祝日は除きます。

※電話は込み合う可能性がございますので、メールでご連絡いただけますと幸いです。折り返し、メールでご回答を差し上げるか、担当者からお電話をさせていただきます。

※電話番号はお間違いのないようにお気を付け下さい。

2012年6月

2012年度 診療所の診療報酬改定についての調査

社団法人 日本医師会

貴施設名、ご連絡先をご記入ください。

※ 調査内容についてお問い合わせをさせて頂く場合のみ使用します。施設名も含めて、固有名詞を特定できる形で公表することは絶対にいたしません。

施設名	
	※ゴム印の押印でも結構です。
ご連絡先	ご担当部署： ご担当者名： 電話番号またはメールアドレス：

問1. 貴施設の状況についておうかがいします。(2012年6月1日現在)

該当箇所には○をつけるか、ご記入ください。

(1) 所在地	都・道・府・県	市・郡・区	区・町・村								
(2) 区分	1 無床診療所 2 有床診療所										
(3) 開設者	1 医療法人(一人医師医療法人を含む) 2 個人 3 その他()										
(4) 許可病床数	<table border="1"> <tr> <td>一般</td> <td>医療療養</td> <td>介護療養</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>床</td> <td>床</td> <td>床</td> </tr> </table>			一般	医療療養	介護療養	合計	床	床	床	床
一般	医療療養	介護療養	合計								
床	床	床	床								
(5) 診療科目	保険請求割合のもっとも大きい診療科に <u>1つだけ</u> ○をつけてください。 1 内科 2 小児科 3 精神科 4 外科 5 整形外科 6 皮膚科 7 婦人科 8 産科・産婦人科 9 眼科 10 耳鼻咽喉科 11 泌尿器科 12 脳神経外科 13 人工透析科 14 その他(具体的に)										
(6) 処方の状況	1 院内 2 院外										

人	.
---	---

問2. 時間外対応加算についておうかがいします。

- 1 標榜時間外の対応を行っていないため
- 2 標榜時間外に対応を行っているが、算定要件が厳しいため
- 3 標榜時間外に対応を行っており、算定要件も満たしているが、周知することにより、負担が大きくなるおそれがあるため
- 4 「時間外対応加算」という診療報酬の趣旨に同意できないため
- 5 経営上のメリットがないため
- 6 その他()

(4) すべての先生におうかがいします。今回の改定で、時間外対応加算1～3があらためて定義されました。このことについて評価できますか。1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|--------------|---|---------------|
| 1 かなり評価できる | } | 問2(5)にお進みください |
| 2 ある程度評価できる | | |
| 3 どちらともいえない | } | 問2(6)にお進みください |
| 4 あまり評価できない | | |
| 5 まったく評価できない | | |

(5) 問2(4)で、評価できる(1と2)を選択された先生におうかがいします。評価できる点 すべてに○をつけてください(複数回答可)。

- 1 対応すべき時間帯が明確になった
- 2 対応すべき患者が明確になった(自院に継続して通院している患者)
- 3 連携での対応が可能になった(時間外対応加算3(1点))
- 4 より高い点数(5点)が設定された
- 5 その他()

(6) 開業後、おおよそ5年以上をとおられる先生におうかがいします。

① 5年前と比べて、時間外に問い合わせをされる患者さんの数に変化はありましたか。 1つだけ○をつけてください。

- 1 かなり増加した
- 2 やや増加した
- 3 同じぐらい
- 4 やや減少した
- 5 かなり減少した

② 5年前と比べて、時間外対応の負担は変化しましたか。

1つだけ○をつけてください。

- 1 かなり過重になった
- 2 やや過重になった
- 3 同じぐらい
- 4 やや軽減された
- 5 かなり軽減された

問3. 有床診療所の先生に、入院基本料に関連しておうかがいします。

管理栄養士について、該当されるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 改定前から常勤で配置済み
- 2 改定前から非常勤で配置済み
- 3 改定後、常勤で配置
- 4 改定後、非常勤で配置
- 5 まだ配置していないが、配置のメドはついている
- 6 まだ配置しておらず、配置のメドも立っていない
- 7 その他()

※ 有床診療所の管理栄養士は、常勤でなくても差し支えありません。

→ 院外処方先生は問4へ、院内処方先生は問5にお進みください。

問4. 院外処方の先生に一般名処方加算についておうかがいします。

(1) 処方せんの作成方法について教えてください。1つだけ○をつけてください。

- 1 レセコンで作成
- 2 電子カルテで作成
- 3 手書き
- 4 その他()

(2) 現在、一般名処方加算を算定されていますか。1つだけ○をつけてください。

- 1 算定している
→ 問4(4)(5)にお進みください
- 2 現在は算定していないが、レセコン等の条件が整えば、算定する予定
→ 問5にお進みください
- 3 現在算定しておらず、今後も算定しない予定
→ 問4(3)にお進みください

※ 一般名処方とは、単に医師が先発医薬品か後発医薬品かといった個別の銘柄にこだわらずに処方を行っているものであり、交付した処方せんに1品目でも一般名処方されたものが含まれれば、一般名処方加算を算定できます。一般名処方は強制、義務化ではありません。

(3) 問4(2)で、「3 現在、今後も算定しない」と回答された先生におうかがいします。
算定されない理由すべてに○をつけてください(複数回答可)。

- 1 患者さんにとってわかりづらい
- 2 後発医薬品を信頼できない
- 3 一般名処方という処方のしかたに抵抗がある
- 4 薬局や薬剤師の対応が不安
- 5 「一般名処方加算」という診療報酬の趣旨に同意しかねる
- 6 その他()

(4) 問4(2)で、一般名処方加算を「1 算定している」と回答された先生におうかがいします。

① 保険薬局が一般名処方にもとづいて調剤した際、情報提供の方法については、どのような形で合意されていますか。1つだけ○をつけてください。

※ 保険薬局によって異なる場合には、処方せんのもっとも多い保険薬局と合意している方法に○をつけてください。

- 1 患者が医薬品を選択した都度、保険薬局からすぐに連絡
- 2 次の診療時に、患者を通じて連絡(「お薬手帳」等による確認)
- 3 一定期間分をまとめて、保険薬局から連絡(1週間、1か月ごとなど)
- 4 継続して服用してきた薬剤と異なるものを患者が選択した時だけ、保険薬局から連絡
- 5 情報提供を求めている
- 6 その他()

- 1 きちんと連絡がある
- 2 ほぼ連絡がある
- 3 ほとんど連絡がなく、実際に患者が選択した薬剤の情報が把握できない
- 4 ほとんど連絡がないが、患者が継続して同じ薬剤を選択しているケースがほとんどと思われる
- 5 その他()

1 かなり負担だった 2 やや負担だった
3 あまり負担ではなかった 4 まったく負担ではなかった
5 どちらともいえない

1 かなり増加 2 やや増加
3 やや減少 4 かなり減少
5 どちらともいえない

1 かなり増加 2 やや増加
3 やや減少 4 かなり減少
5 どちらともいえない

問5. 在宅療養支援診療所に関連しておうかがいします。

(1) 今年(2012年)3月末時点で、在宅療養支援診療所(在支診)の届出をされていましたが。
1つだけ○をつけてください。

- 1 今年(2012年)3月末時点で届出をしていた
- 2 かつて届出をしたことはあるが、今年(2012年)3月末時点では届出をしていなかった
- 3 一度も届出をしたことがない

(2) ① 現時点(6月1日時点)で、在支診の届出をされていますか。
1つだけ○をつけてください。

- 1 機能を強化した在支診(自院単独)
- 2 機能を強化した在支診(連携で)
- 3 在支診
- 4 届出していない

② 今後(1～2年後)は、どの届出をされたいですか。
1つだけ○をつけてください。

- 1 機能を強化した在支診(自院単独)
- 2 機能を強化した在支診(連携で)
- 3 在支診
- 4 届出しない予定(届出をやめる予定を含む)

(3) 在宅医療を担当する常勤医師数、緊急往診件数、在宅における看取り件数をご記入ください。なしの場合も0(ゼロ)とご記入ください。
在支診以外の先生もご記入をお願いします。

貴院のみ的人数・件数をご記入ください。

① 在宅医療を担当する常勤医師数(実人数(アタマ数))	人
② 過去1年間の緊急往診件数	件
③ 過去1年間の在宅における看取り件数	件

(4) 在支診の届出をされている先生におうかがいします。

連携先医療機関数をご記入ください。

機能強化型以外の在支診の先生も、緊急時に入院できる病床が確保されている

連携医療機関数をご記入ください。

① 病院	施設
② 有床診療所	施設
③ 無床診療所	施設

(5) 連携によって機能を強化した在支診を届出されたい意向がありながら、現在は届出ができていない先生におうかがいします。その理由としてもっとも近いものに1つだけ○をつけてください。

- 1 近隣に医療機関がない
- 2 近隣に医療機関があるが、在宅医療を行っているかどうかよくわからない
- 3 近隣に在宅医療を行っている医療機関はあるが、よく知らないので、頼みにくい
- 4 近隣に在宅医療を行っている医療機関はあるが、連携しても要件を満たさない
- 5 連携をもちかけて断られた
- 6 その他()

(6) 在支診の届出をされていない先生におうかがいします。その理由にすべてに○をつけてください(複数回答可)。

- 1 在宅医療を担当する医師がいない
- 2 24時間連絡を受ける医師または看護師を指定することが困難
- 3 24時間往診が可能な体制を確保できない
- 4 24時間訪問看護の提供が可能な体制を整備できない
- 5 緊急時に入院できる病床を常に確保することが困難
- 6 ケアマネジャーとの連携が難しい
- 7 当院の機能上、あまり関係がない
- 8 終末期医療まで考えると責任が持てない
- 9 その他()

問6. 診療報酬項目のうち、問題が大きいためには是正すべきと思われるものとその理由を2つまでご記入ください。

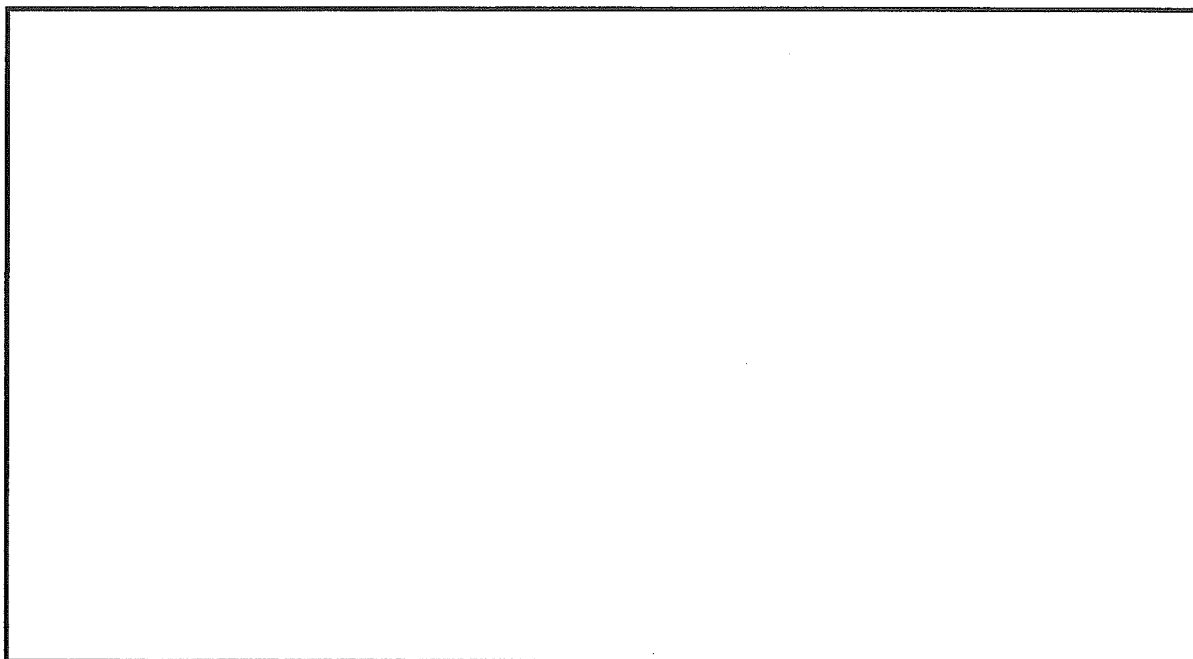
回答欄1

(1) 分野に○をつけてください。			
1 初・再診料	2 入院料等	3 医学管理等	4 在宅医療
5 検査	6 画像診断	7 投薬	8 注射
9 リハビリテーション	10 精神科専門療法	11 処置	12 手術
13 麻酔	14 放射線治療	15 病理診断	16 DPC
17 介護	18 その他		
(2) 診療報酬項目名をご記入ください。			
記入例 再診料			
(3) 問題点とその理由等をご記入ください。			

回答欄2

(1) 分野に○をつけてください。			
1 初・再診料	2 入院料等	3 医学管理等	4 在宅医療
5 検査	6 画像診断	7 投薬	8 注射
9 リハビリテーション	10 精神科専門療法	11 処置	12 手術
13 麻酔	14 放射線治療	15 病理診断	16 DPC
17 介護	18 その他		
(2) 診療報酬項目名をご記入ください。			
記入例 再診料			
(3) 問題点とその理由等をご記入ください。			

問7. 今回の診療報酬改定についてのご意見等をご自由にご記入ください。

A large, empty rectangular box with a black border, intended for the respondent to provide their free-text comments or opinions regarding the medical fee revision.

以上でアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

2012年6月

2012年度 病院の診療報酬改定についての調査

社団法人 日本医師会

貴施設名、ご連絡先をご記入ください。

※ 調査内容についてお問い合わせをさせて頂く場合のみ使用します。施設名も含めて、固有名詞を特定できる形で公表することは絶対にいたしません。

施設名	
ご連絡先	※ゴム印の押印でも結構です。 ご担当部署： ご担当者名： 電話番号またはメールアドレス：

問1. 貴院の状況についておうかがいします。(2012年6月1日現在)

該当箇所に○をつけるか、ご記入ください。

(1) 所在地	都・道・府・県	市・郡・区	区・町・村												
(2) 区分	1 精神科病院 2 結核療養所 3 一般病院(精神科病院、結核療養所以外すべて)														
(3) 開設者	1 国(独立行政法人国立病院機構等を含む) 2 都道府県 3 市町村 4 地方独立行政法人 5 公的(日赤・済生会・北海道社会事業協会・厚生連・国民健康保険団体連合会) 6 社会保険関係団体(全国社会保険協会連合会・厚生年金事業振興団) 7 公益法人 8 医療法人 9 個人 10 その他()														
(4) 許可病床数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>精神病床</th><th>感染症病床</th><th>結核病床</th><th>療養病床</th><th>一般病床</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">床</td><td style="text-align: center;">床</td><td style="text-align: center;">床</td><td style="text-align: center;">床</td><td style="text-align: center;">床</td><td style="text-align: center;">床</td></tr> </tbody> </table> (うち介護療養病床 _____床)			精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計	床	床	床	床	床	床
精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計										
床	床	床	床	床	床										
(5) DPC	DPCによる支払対象病院ですか。 1 DPC対象病院 (平成_____年度DPC支払対象病院) 2 DPC準備病院 (平成_____年度DPC準備病院) 3 DPCではない														

一般病棟がない病院は問3にお進みください。

- 5 その他()

- 6 その他()

問2(4)にお進みください

- 5 常勤医師数 入院患者の100分の10以上

- 5 常勤医師数

--	--

(5) 看護師の採用について、それぞれに1つだけ○をつけてください。

① 5年ぐらい前、看護師の採用は困難でしたか。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 かなり困難だった | 2 やや困難だった |
| 3 どちらともいえない | 4 ある程度容易だった |
| 5 かなり困難容易だった | |

② 5年ぐらい前と比べると現在は看護師の採用は困難ですか

- | | |
|-------------|----------|
| 1 かなり困難 | 2 やや困難 |
| 3 どちらともいえない | 4 ある程度容易 |
| 5 かなり容易 | |

問3. 回復期リハビリテーション病棟入院料に関連しておうかがいします。

回復期リハビリテーション病棟がない施設は問4にお進みください。

(1) 今年(2012年)3月末時点で算定されていた入院料に1つだけ○をつけてください。

- 1 回復期リハビリテーション病棟入院料1 1,720点
・ 常時15対1の看護配置、在宅復帰率6割以上などが要件
- 2 回復期リハビリテーション病棟入院料2 1,600点

(2) 来年(2013年)3月末時点で算定予定の入院料に1つだけ○をつけてください。

- 1 回復期リハビリテーション病棟入院料1 1,911点
・ 常時13対1の看護配置、在宅復帰率7割以上、重症患者の3割以上が退院時に日常生活機能を改善していることなどが要件
- 2 回復期リハビリテーション病棟入院料2 1,761点
・ 常時15対1の看護配置、在宅復帰率6割以上、重症患者の3割以上が退院時に日常生活機能を改善していることなどが要件
- 3 回復期リハビリテーション病棟入院料3 1,611点

(3) 回復期リハビリテーション病棟入院料1の施設基準のうち、満たすことが困難なものすべてに○をつけてください(複数回答可)。また最も困難なものを1つだけ回答欄にご記入ください。現在、回復期リハビリテーション病棟入院料1を算定されていない病院もご回答をお願いします。

- 1 常時13対1以上の看護配置
- 2 看護配置のうち看護師7割以上
- 3 看護配置のうち夜勤看護職員2名以上
- 4 常時30対1以上の看護補助者の配置
- 5 専任のリハビリテーション科の医師1名以上
- 6 専従の理学療法士3名以上
- 7 作業療法士2名以上
- 8 言語聴覚士1名以上
- 9 専任の在宅復帰支援を担当する社会福祉士等1名以上
- 10 在宅復帰率7割以上
- 11 新規入院患者のうち重症患者3割以上
- 12 看護必要度の基準を満たす患者1割5分以上
- 13 重症患者のうち3割以上が退院時に日常生活機能が改善

○はいくつでも。

そのうち最も困難なものの番号1つ



問4. 病院勤務医の負担軽減についておうかがいします。

(1) 勤務医の負担軽減のために取り組んでおられる項目すべてに○をつけてください(複数回答可)。

- 1 当直翌日の勤務について、休日としたり業務内容の調整を行ったりすること
- 2 予定手術前日に当直や夜勤を行わないこと
- 3 医師事務作業補助者の配置
- 4 短時間正規雇用医師の活用
- 5 地域の他の医療機関との連携
- 6 交代勤務制の導入
- 7 外来縮小の取り組み
- 8 その他()

(2) 上記の項目のうち、実際に勤務医の負担軽減に役立っているものを2つまで選択してください。

回答欄(番号を2つまでご記入ください)→

--	--

問5. 入院基本料についておうかがいします。

常勤の管理栄養士は配置されていますか。1つだけ○をつけてください。

- 1 今回改定以前から配置済み
- 2 今回改定にあわせて配置した((例)新たに採用した。非常勤を常勤にした。)
- 3 まだ配置していないが、配置(採用)のメドはついている
- 4 まだ配置しておらず、メドも立っていない
- 5 その他()

問6. データ提出加算についておうかがいします。

一般病棟入院基本料(7対1、10対1)、専門病院入院基本料(7対1、10対1)を
出来高で算定しておられる病院が対象です。

その他の病院は問7にお進みください。

(1) 今年、届出予定あるいは届出することを目指しているデータ提出加算に1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------------|---|----------------|
| 1 データ提出加算1 | } | →問6(2)にお進みください |
| 2 データ提出加算2 | | |
| 3 どちらも届出しない | } | →問6(3)にお進みください |
| 4 未定 | | |

(2) 問6(1)で、「1 データ提出加算1」または「2 データ提出加算2」を届出予定と回答された病院におうかがいします。それぞれ1つだけ○をつけてください。

① コスト面の負担(レセコンの改修など)はありますか。

- 1 かなり負担 2 やや負担 3 負担ではない

② 業務面の負担は増えそうですか。

- 1 かなり増えそう 2 やや増えそう 3 増えそうにない

(3) 問6(1)で、「3 どちらも届出しない」「4 未定」と回答された病院におうかがいします。その理由についてすべてに○をつけてください(複数回答可)。

- 1 コストに見合わない
- 2 データ提出に係る人材の確保が困難
- 3 診療記録管理者の配置が困難
- 4 入院患者についての疾病統計や退院時要約の作成が困難
- 5 自院の患者データの秘密が守られるか不安
- 6 経営上の必要性がない
- 7 「データ提出加算」という診療報酬の趣旨に同意できない
- 8 その他()

(4) 今後、DPC対象病院に参加される予定はありますか。1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|---|----------------|
| 1 参加する方向で、具体的に準備中 | } | 問7にお進みください |
| 2 参加する方向で、検討中 | | |
| 3 どちらともいえない | | |
| 4 参加する予定はない | | →問6(5)にお進みください |

(5) 問6(4)で、「4 参加する予定はない」と回答された病院におうかがいします。その理由について、すべてに○をつけてください(複数回答可)。

- 1 自院の方針
- 2 出来高のほうが経営上有利
- 3 データ整備が負担
- 4 データを活用されることが不安
- 5 将来、DPC点数は梯子を外されるのではないかと不安
- 6 その他()

問7. 在宅療養支援病院に関連しておうかがいします。

許可病床数200床未満の病院、または当該病院を中心とした半径4km以内に診療所がない病院が対象です。

その他の病院は問8にお進みください。

(1) 今年(2012年)3月末時点で、在宅療養支援病院(在支病)の届出をされていましたか。

1つだけ○をつけてください。

- 1 今年3月末時点で届出をしていた
- 2 かつて届出をしたことはあるが、今年3月末時点では届出をしていなかった
- 3 一度も届出をしたことがない

(2) ① 現時点(6月1日時点)で、在支病の届出をされていますか。

1つだけ○をつけてください。

- 1 機能を強化した在支診(自院単独)
- 2 機能を強化した在支診(連携で)
- 3 在支病
- 4 届出していない

② 今後(1～2年後)は、どの届出をされたいですか。

1つだけ○をつけてください。

- 1 機能を強化した在支診(自院単独)
- 2 機能を強化した在支診(連携で)
- 3 在支病
- 4 届出しない

- (3) 在宅医療を担当する常勤医師数、緊急往診件数、在宅における看取り件数をご記入ください。なしの場合も0(ゼロ)とご記入ください。

在支病以外の先生もご記入をお願いします。

貴院のみの人数・件数をご記入ください。

① 在宅医療を担当する常勤医師数	人
② 過去1年間の緊急往診件数	件
③ 過去1年間の在宅における看取り件数	件

- (4) 在支病の届出をされている病院におうかがいします。

連携先医療機関数をご記入ください。

① 病院	件
② 有床診療所	件
③ 無床診療所	件

- (5) 連携によって機能を強化した在支病を届出されたい意向がありながら、現在は届出ができていない病院におうかがいします。その理由としてもっとも近いものに1つだけ○をつけてください。

- 1 近隣に医療機関がない
- 2 近隣に医療機関があるが、在宅医療を行っているかどうかよくわからない
- 3 近隣に在宅医療を行っている医療機関はあるが、よく知らないので、頼みにくい
- 4 近隣に在宅医療を行っている医療機関はあるが、連携しても要件を満たさない
- 5 連携をもちかけて断られた
- 6 その他()

- (6) 在支病の届出をされていない病院におうかがいします。その理由にすべてに○をつけてください(複数回答可)。

- 1 24時間連絡を受ける医師または看護師を指定することが困難
- 2 24時間往診が可能な体制を確保できない
- 3 24時間訪問看護の提供が可能な体制を整備できない
- 4 緊急時に入院できる病床を常に確保することが困難
- 5 ケアマネジャーとの連携が難しい
- 6 当院の機能上、あまり関係がない
- 7 終末期医療まで考えると責任が持てない
- 8 在宅医療を行っていない
- 9 その他()

問8. 診療報酬項目のうち、問題が大きいために是正すべきと思われるものとその理由を2つまでご記入ください。

回答欄1

(1) 分野に○をつけてください。			
1 初・再診料	2 入院料等	3 医学管理等	4 在宅医療
5 検査	6 画像診断	7 投薬	8 注射
9 リハビリテーション	10 精神科専門療法	11 処置	12 手術
13 麻酔	14 放射線治療	15 病理診断	16 DPC
17 介護	18 その他		
(2) 診療報酬項目名をご記入ください。			
記入例 再診料			
(3) 問題点とその理由等をご記入ください。			

回答欄2

(1) 分野に○をつけてください。			
1 初・再診料	2 入院料等	3 医学管理等	4 在宅医療
5 検査	6 画像診断	7 投薬	8 注射
9 リハビリテーション	10 精神科専門療法	11 処置	12 手術
13 麻酔	14 放射線治療	15 病理診断	16 DPC
17 介護	18 その他		
(2) 診療報酬項目名をご記入ください。			
記入例 再診料			
(3) 問題点とその理由等をご記入ください。			

問9. 今回の診療報酬改定についてのご意見等をご自由にご記入ください。

以上でアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。